



うさぎだより

中野区議会議員 ● 無所属

佐藤ひろこ

[事務所] 〒164-0001 中野区中野 1-33-9 TEL/FAX.3368-9107 [区議会] 〒164-0001 中野区中野 4-8-1 無所属控室 TEL.3228-8874
http://homepage2.nifty.com/usagidayori/ mail:usagidayori@hotmail.com 編集・発行:住民自治をすすめる政策研究会

中野区の財政の将来負担は?

今年の決算議会から、4つの財政健全化指標(実質赤字比率・実質公債費比率・将来負担比率)を全国の自治体が毎年公表することになった。夕張市はじめ43市町村の指標が基準より上回り、財政破綻の赤信号、警告の黄信号がともった。中野区はいずれの数値も基準を下回っており、財政状況は健全だ。「将来負担比率」は新しい指標だ。その算出内訳を見ると、「将来の負担」はどれくらいあるか、「支払い能力」はどのくらいあるのかがわかる。



2007年度将来負担比率算出内訳からの抜粋

(単位:千円)

【将来負担額A】					
*1	*2	*3	*4	*5	合計
地方債の現在高	債務負担行為に基づく支出予定額	一部事務組合等負担等見込額	退職金手当負担見込額	設立法人の負担額等負担見込額	
48,704,684	13,297,720	2,535,487	27,270,686	249,900	92,058,477

【充当可能財源等:B】				将来負担比率 (%)
充当可能基金	充当可能特定歳入	地方債現在高等に係る基準財政需要額算入見込額	合計	
37,644,174	0	76,136,513	113,780,687	将来負担額(A-B)がマイナスになるため、将来負担比率もマイナスになり、-で表現される。

将来負担額計Ⅱ約920億円
*1 地方債現在高487億円
*2 土地開発公社からの用地取得費等 約133億円
*3 23区清掃一部事務組合の地方債残高に対する負担見込額等 約25億円
*4 職員全員が退職と仮定した支給額 約273億円
*5 江古田の森運営法人への損失補償見込額2億5千万円
支払い能力Ⅱ充当可能財源約1138億円
現在は、将来負担額を支払う能力が、区にあることになる。毎年、このチェックが重要だ。

地域で医療的ケア

生きる希望を

8歳から30年間病院にいて、昨年、名古屋市にある「AJU自立の家」で暮らしはじめた青年に会った。24時間人工呼吸器をつけ、経管栄養、病院にいただけの生活、死にたいと思っていた青年は、「今が最高に楽しい」と言う。部屋の天井いっぱいにはサッカー選手のポスター。呼吸器をつけてヘルパーといっしょにサッカー観戦にいくのが最高の楽しみだそうだ。ヘルパー、訪問看護師、福祉ホームの職員、様々な人が、彼の地域生活を支えている。彼も人々に生きる希望を与えている。まさに地域ケアだ。

医療的ケアとは

「医療的ケア」は、口から食べることができないので、体に管を入れて食事をとる「経管栄養」、呼吸する力が弱いので「呼吸器を使うなど、その人を支える欠かせない行為である。医療的ケアができるのは、医師・看護師または家族に限られている。ようやく、養護学校教員や、ALS患者のヘルパーが、一定の条件でできるようになったが、ほとんど家族が離れられない介護を担っている。

現場から学ぶ

医療的ケアの調査のため、あちこち見学に行った。世田谷区にある「あけほの学園」、光明特別支援学校、横浜市にある「訪問の家・朋」、カンガル―統合保育園、中野区たんぼほ学級、アポ口園、障害者福祉会館、かみさぎこぶし園、江古田の森施設など、小児科医の方々にもお話をうかがった。様々な取組や課題があることがわかった。

街で、地域で

「ケアが街にやってきた」という本に、医療的ケアの実践があふれている。「みんなで医療的ケア。家で、病院で、学校で、ホームヘルプで、福祉施設で、そして街で。」と、みんなが暮らしやすい街をつくるために。

京都の町家で暮らすALS難病患者のKさん宅にはダンススタジオもある。ダンスサークルが24時間介護を支えている。



医療的ケアを必要とする人へ支援を

区長の考えは？

佐藤 医療的ケアを必要とする人が、通所施設やショートなどを利用し、地域で暮らせるよう、地域ケア体制の充実が必要だ。区長の考えは？

区長 医療的ケアの対象となる方が増えていく中で、充分な社会的な仕組みができあがっていない大変重要な問題だ。必要なサービスの整備と共に、包括的な地域ケアのネットワークづくりをすすめていきたい。

担当する組織は？

佐藤 中野区では、乳幼児は子ども家庭部、学齢期は特別支援



医療的ケアが必要な子どもも受け入れているNPO法人カンガルー統合保育園



痰の吸引の練習台Qちゃん人形

学校、18歳以上は障害福祉分野と担当が分かれている。医療的ケアが必要な重度の障がい児者の状況をトータルに把握し、支援策を考える組織が必要ではないか。

区長 それぞれの所管が把握しているケースを集計し、実態把握をすすめていきたい。どういふ部署が対応していくべきなのか定めたい。

医療機関との連携を

佐藤 中野区の特別支援学級たんぼほ学級では、入学時は受け入れていないが、途中から医療的ケアが必要になる子たちがいる。痰がつまったり、嚥下障害がある子どもも多く、先生たちは給食の介助の時間が一番緊張するそうだ。かみさきこぶし園や障害者福祉会館の通所者にも途中から医療的ケアが必要になる人がいる。看護師の充実や、医療機関との連携が必

要。医療的ケアに関する検討会や研修会の実施を。

区長 医療機関と福祉施設等の連携を、多面的に構築していく必要がある。施設関係者や医療機関と意見交換をしていく。医療的ケアに関する研修会の実施を検討する。

一時保護の受け入れを

佐藤 保護者の切実な要望は、緊急時や介護者が疲れたとき

決算特別委員会 総括質疑

区財政の危機管理を

危機管理の専門家である立教大学大学院の福田秀人教授はその著書「見切る！」の巻頭で「将来は正しく予想できない。ゆえに、正しい意思決定とこのもなく、経営は錯誤の連続となる。大事なことは、現実を直視し、失敗を認める勇気を持ち、見切りの『決断力』に優れることである。」と述べている。自治体運営にもあてはまる。

佐藤 将来負担比率はマイナスになったものの、これからの土地取得や施設の更新など起債の動向、江古田の森施設の損失補償や、第3セクターまちづくり中野21など、注意を払うべき様々な要素を抱えている。リ

のための区内でのレスパイト、一時保護だ。現在では、2ヶ月前から予約しなければならぬ区外の施設しかない。どのように実現をしていくのか。

区長 再来年度、民間委託する療育センターアポロ園で、医療的ケアを必要とする幼児の、通園や緊急一時保護について準備を進めている。学齢児以上については、江古田の森保健福祉施設で実施を図っていきたい。

スクを把握し、改善に向けた判断、危機を回避するための決断は、早いほどよい。区財政の危機管理についての見解は？

区長 外郭団体等のリスクを把握しながら適切な関与を行い、将来的な財政負担のリスク回避を総合的に進めていく。

外郭団体と第二セクター

佐藤 健全化指標では、連結対象となる外郭団体や第三セクターの財政状況が影響する。中野区では、「土地開発公社」と「中小企業退職金共済会」が連結されている。第三セクターの「シテイテレビ中野」や、サンブ

ラザを所有する「まちづくり中野21」は連結の対象にならないのか？連結対象となる基準はどういうものか。

経営分析課長 バランスシートで連結している団体は、区が50%以上出資し、区と協力して行政サービスを実施するなど業務を行っている団体。

佐藤 今後出資比率が増える対象になるかもしれない。「将来負担比率」「連結バランスシート」などで、しっかりとチェックを行うことが必要だ。

民間活力の手法の検証を

佐藤 区は江古田の森施設整備にPFIの手法を取り入れ、また、保育園をはじめとし指定管理者に委託する施設も増えている。PFI・指定管理者・民間委託・民設民営と、さまざまな手法で施設運営が行われているが、検証する時期にきているのではないか。どのような事業に、どの手法が適切なのか、それぞれの手法のメリットとデメリットを比較評価し、改善する必要があるがどうか。

評価改善課長 民間活力導入後の検証は重要な課題だ。今後、手法のあり方について検証するなど改善の取組を考える。

福祉避難所の充実を

佐藤 中野区では、高齢者、障害者、乳幼児親子などの第二次避難所、いわゆる福祉避難所が、高齢者対象に、特養ホームや高齢者福祉センターなど14カ所、障害者対象に、中野特別支援学校や障害者福祉会館など5カ所、乳幼児対象に、保育園や児童館など26カ所を指定している。福祉避難所の備蓄物資は避難者用にも確保されているのか。

危機管理課長 備蓄倉庫、学校

ふたたび被爆者をつくるな!

＝広島・長崎を語り継いで＝

核兵器の廃絶を願って
海老沢 一巳さん(広島被爆)の記録から

「長広会(中野区原爆被爆者の会)50年のあゆみ」の記録集ができました。その中から一部を紹介します。

私たちが被爆者にとって、あの日の出来事やその後の人生を思い出して話すことは真実つらいことです。

私も昭和19年7月19日召集令状が来て、(中略)翌20年1月中旬に出動命令でビルマ、タイに通じる泰緬鉄道建設に広島から船で行くため、広島に行つたが、船の都合がつかず待機して毎日訓練の日々を送っていた。8月6日に(中略)通信回線確保のため出動、横川駅に到着列車が来るまで、待合室裏及

び横側で待機していたところ、突然の光線及び爆風で私は待合室の下敷きとなつたが、そばの戦友が倒れた木材等を片付け出してくれた。その時、頭部、背中、腰及び、両足打撲出血を手ぬぐいで押え、可部線沿線の小学校に避難、手当てを受けた。避難する途中で黒い雨に会い、服は黒くなつていた。白血球赤血球低下したのか頭髮抜け始め、約3分の2位抜けた。強い光線で皮膚が爛れた。(中略)

私達はあの原爆の残酷な破壊の犠牲になり、また必死に生き残り、病魔と闘い今日まで生き延びてきました。現在、核兵器保有国は益々増えてきています。いまも生き残つた私達は被爆の実相を訴え、核兵器は許せないことを伝えることが義務であると思います。(後略)

避難所に備蓄してあり、福祉避難所には備蓄していない。

佐藤 福祉施設と周辺の町会などとの災害時応援協定の締結状況はどうか。

危機管理課長 消防庁に確認し、14協定締結されていることが、わかつた。

佐藤 区としても把握すべきだ。中野区地域防災計画において、「災害時要援護者に対する震災対策訓練を実施する」とあるが、実施されたのか。

危機管理課長 実施していない。訓練の機会を通して参加をうながしていきたい。

多目的ベットの設置を

佐藤 障がい児のオムツ替えには、赤ちゃん用ベットの小さくて、使えないそう。区役所の1階の多目的トイレにあるような、多目的ベットの設置をすすめてほしい。

財産管理課長 5年計画で取り付けるようにすすめている。



授乳やオムツ替えができる「赤ちゃんのほっとスペース」のマークできる。

厚生委員会で

*キッズプラザ塔山オープン

塔山小学校の1階に、学童クラブと、子ども達放課後遊ぶ児童館機能が移った。大勢の子ども達で連日にぎわっている。



*びよびよ広場

東部地域センター1階の元児童館で、地域のポランティアの方々の力で、乳幼児親子の広場がオープン。平日は毎日11時～4時。登録者が100組を超え、にぎわっている。ここには高齢者会館も移転予定。両方の活動が行えるような施設改修が希望されている。



*アポロ園の委託先

「社会福祉法人全国重症心身障害児(者)を守る会」に決まる。

世田谷区にある「あけぼの学園」などを運営している、医療的ケアを必要とする障がい児にも実績がある法人。来年4月から一部業務の委託開始。

*はじめての小児科相談事業 出産前だけでなく、産後3ヶ月未満の産婦にも拡大。

南の地域にやっと 防災公園計画

・南台1丁目の東大海洋研究所跡地に防災公園1ヘクタール
・本町5丁目のN.T.T住宅跡地に防災公園1ヘクタール
・本町2丁目の郵政宿舍跡地にも公園整備

佐藤ひろこの収支報告

2008年8月～10月

		8月	9月	10月
収入	報酬	647,000	647,000	647,000
	費用弁償	3,000	0	18,000
支出	税金	81,160	81,160	81,160
	年金・保険	177,210	177,210	177,210
	活動費	71,729	37,655	61,737
出積み立て		3,000	0	18,000
	残	¥316,901	¥350,975	¥326,893

*議会に出席すると1日につき3,000円の費用弁償がつく。なくすべし。区への返金は法的にできないので、積み立て、区外の団体に寄付をしている。

